東小だより

＊一人ひとりが輝く学校

大阪狭山市立東小学校　　Ｎｏ．３３０
平成３０年　２月　１日
℡　072－365-0044　FAX 072-365-0045
Mail:higashies@osakasayama.ed.jp
HP:http//higashi-es.osakasayama.ed.jp/

節分（季節を分ける）

校長　鈴木　康子

「鬼は、外」「福は、内」と声に出しながら福豆（煎り大豆）をまいて、年齢の数（数え年）だけ豆を食べて厄を払うという日本の行事、「節分」。**立春**が２月４日なのでその前日２月３日が**節分**です。最近では、恵方に向かって「巻きずしの丸かぶり」をするご家庭が多いかと思います。今はあまりされていませんが、柊の枝にイワシの頭を刺したものを戸口に立てて「邪気払い」する習わしもあります。季節の変わり目には、気温の変化による天変地異が起こったり人も体調不良が生じたりしたりして良くないことが起こることがあるため、このような行事をしたものと思われます。

現在ではこの時期インフルエンザが流行するため、**「邪気払い」ならぬ「ウィルス払い」**が必要です。学校では各教室に加湿器を設置して空気の乾燥を防ぐと共に、窓を開けて空気の入れ替え、手洗い・うがいの励行に努めています。また、お茶を飲むことも予防になります。茶葉（緑茶）に含まれる「カテキン」に殺菌作用がありインフルエンザへの効能もあるそうです。寒い時にも水筒にお茶を入れて持たせてください。休み時間に飲むよう声かけをしていきます。ご家庭でも、マスクの着用、衣服の調整等、体調管理にはご留意いただいていると思いますが、引き続きお子様の健康状態の把握をよろしくお願いいたします。

さて、春に花を咲かせる植物にとって今の時期は「休眠期」といってまさに眠っている状態です。しかし、ただ眠っているのではありません。目には見えない土の中でしっかりと根を伸ばし、幹を支える根っこを育てているのです。「根を養えば樹は自ら育つ」と言います。根っこを深く広く育てることでその樹は高く大きく育つことでしょう。

小学校生活の６年間も目に見えない根っこの部分を育てる大切な期間です。「あいうえお」の学習から日本国憲法や世界平和の学習までに流れた時間。人の一生の中で、頭と体と心がこれほど成長するのはこの時期しかありません。この６年間は、人生を生き抜くための足場や根っこを作る大切な時期なのです。

本校の教育目標「ひとり一人が輝く学校」には、子ども達ひとり一人が十分に根っこを育て、やがて芽を吹き自ら伸びて、その子なりの個性の花を咲かせてくれる人になってほしい、という願いを込めています。どうぞご理解いただき、今後もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

＊学校アンケートにご協力をいただきまして、ありがとうございました。全学年を集計の上、結果を報告させていただきます。